



Sapporo Gakuin University

学園広報

2007.11.20 No.98

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

こども発達学科カリキュラム本稼動 特色ある授業が続々

人文学部こども発達学科は今年二年目を迎えました(二年生八十五名、一年生五十七名)。少人数で構成される演習や、多くの体験型学習を通じて個性豊かで周囲と楽しく協働できる人材が育ってきています。

こども発達学科の学生は「明るく」「はきはきして」「何事にも前向き」で、何が自ら企画・立案した体験「実習・パン作り」「スライム作り」を実施、江別市内外から小学校教員を目指す学生がほとんどですが、保育士や社会福祉関係等への就職を目指す学生、人間に関わる勉強をするうちにサービスマンに興味を持った学生もいます。学生間の団結力が強く、教員との関係も密接で全体としてまとまりのある雰囲気をもつ学科です。

この学科のカリキュラムの特長は、一年次から十数名単位の演習を必修としたきめ細かな指導を行っていること、そして体験型学習を数多く配置していることにあります。実習科目の一つである「地域の子ども連携マネジメント実習」は、もぐりを通して、子どもたちの興味、関心や接し方についての理解を深めるこ

とが目的です。その成果として今年六月には、二年生が自ら企画・立案した体験「実習・パン作り」「スライム作り」を実施、江別市内外から小学校教員を目指す学生が五十名を超える児童が参加し盛況に行われました。教職履修生を対象とした「教職総合演習」では、教職に就くためのきめ細かな指導がなされ、七月には授業の一環として札幌三角山小学校で授業を見学し、教育現場の実情を直に学ぶ機会を得ました。また「家庭科指導法」では、実際の小学校家庭科の授業を念頭に、おいた調理・裁縫実習等の指導を受けました。その学習成果は、十月の大学祭でさっそく発揮されました。学生数々が、「おから」を何とか美味しく食べてもらおうと試行錯誤し、子どもが大好きなお好み焼き風アレンジした「おから焼き」



「ものづくりと子ども発達」の実習でそば打ちを体験。自分で打ったそばの味は格別!!

しました」と話しました。これから二年生の多くは教育実習に向けた準備、さらには教員採用試験を見据えた本格的な学習に入ります。彼らの「教壇に立ちたい」という夢の実現にむけて今後とも多方面にわたって大学は支援します。あわせて保育士等の資格取得を目指す学生に対しても、エクステンションセンター等と連携しバックアップしていきます。

多彩なプログラムが大好評! オープンキャンパス

六月二十三日・七月二十九日・九月三十日に本学でオープンキャンパスを開催し

ました。九月三十日の参加者数はAO入試エントリー者を含め、六四八名にのぼり、今年実施した三回の総参加者数は約一、六〇〇名となりました。道内をはじめ東北、関東、関西など遠方からのご参加も頂きました。学生生活や入試制度・カリキュラムなどの相談に心づく個別相談会、ミニ講義、学科内容説明会、保護者向けガイダンス、体験学習、キャ

ンプラスター、学食体験などのプログラムを行い、入試対策講座として昨年度から実施している「推薦入試面接対策講座」「大学入試センター試験英語リスニング対策講座」には前年同様、多くの方に集まって頂きました。「推薦入試面接対策講座」では、面接に臨む心構えや面接でよく試験官に尋ねられる内容を説明。熱心に説明を聞いている方や、メモ

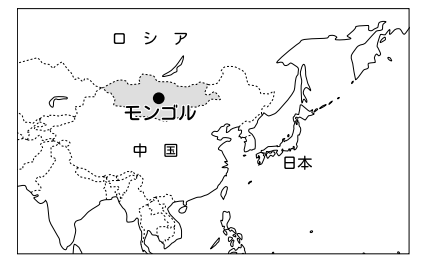
を取る方もいました。個別相談会の「在学生との懇談コーナー」では、入学した後の学生生活などを在学生から聞くことができます。高学年と在学生とで和気あいあいとした雰囲気の中で、懇談が進められていました。体験学習のひとつ「土器製作体験」は、粘土をこねる段階から土器を作る体験ができます。製作したものは野焼きをして参加者のご自宅へお届けしています。力いっぱい粘土をこねたり、作った土器の形を整えたりと、普段はあまりできない



体験に、参加された方は楽しく真剣に取り組んでいました。また、第二回目と第三回目のオープンキャンパスにはAO入試の面談も並行して実施。エントリーした生徒は面談を終えた後、ほっとした表情で大学内を見学していました。その後、AO入試は十月五日に出願許可、願書受付を開始し、最終面接を経て、十月三十日に合格発表が行われました。来年三月二十二日(土)には、現在高校一・二年生

「自分達が学び働くキャンパスをきれいにしよう!」との呼びかけで、七月九日から十三日の四日間、クリーンキャンパス・キャンペーンが繰り広げられました。キャンパス・パトロールの呼びかけに、学生諸団体(学生自治会、体育会、文化会、ゼミナール)と教職員参加者は、四日間延べ一五〇名に上りました。パトロール隊は、第一

を中心とした第四回オープンキャンパスを実施します。開催時間は十一時から十五時を予定しており、来年度AO入試の説明会も実施します。



千年の時を経て —チントルゴイ城址で合同調査



八月三日(十四日)にかけて、白桦塾人文学部教授を代表とする札幌学院大学、奈良大学、富山大学の合同調査が、モンゴル国中央部のチントルゴイ城址で行われました。

十世紀初めに樹立した契丹国が一〇〇四年に設置した鎮州の城址と推定され、南北約一・三キロ、東西約〇・七キロの規模を持ちます。北の通商・防衛の要地として栄えましたが、十三世紀にはすでに廃墟となりました。この時代の都市遺跡が原形をとどめていることは珍しく、貴重な遺跡です。二〇〇四年からモンゴル・ロシアの共同発掘調査が開始され、二〇〇六年から学術研究振興資金の援助を得て、遺跡全体の詳細な遺構

確認と測量図の作成を目的に、日本隊が三年がかりで調査に加わることになりました。今回の調査では、鎮州統治の中心施設である大型建物跡や中心街路の測量に加え、城外で大型建物市街地、工房、水路、土器・瓦の工場を確認しました。城内では、中国産陶磁器も多数採集しました。この都市では、組織化された統治、城内外に広がる市民生活、容器や道具の生産、灌漑による農業経営、東西の文物の流通が行われていたようです。白桦教授は「今後、城内外の各施設や区画の機能・



生活の場からの地域介護を目指して
大学院地域社会マネジメント研究科生が
NPO法人設立

本学大学院地域社会マネジメント研究科に在籍する大学院生が中心となり、NPO法人「ライフサポートネット」が設立され、この十月一日より事業を開始しました。設立メンバーには、NPOやマネジメントを研究している大学院の名譽教授、教授陣も参加しています。

このNPO法人の目的は、「生活の場からの地域介護サービス」の構築として、看護士・介護福祉士・ケアマネジャーの協働による訪問介護、居宅介護の実践教育を行うこと、資格と経験を有するが諸事情により常勤が不可能な看護士に就業機会を創出すること、私生活に支障をきたす学生に積極的に質問されて大変熱

環境改善への第一歩

クリーンキャンパス・キャンペーンに 150名参加

「自分達が学び働くキャンパスをきれいにしよう!」との呼びかけで、七月九日から十三日の四日間、クリーンキャンパス・キャンペーンが繰り広げられました。キャンパス・パトロールの呼びかけに、学生諸団体(学生自治会、体育会、文化会、ゼミナール)と教職員参加者は、四日間延べ一五〇名に上りました。パトロール隊は、第一



完全分煙

札幌学院大学は、グリーンな学習環境の確立を目指して、

- 喫煙は、禁煙室内(喫煙所)・施設外では「灰皿のある場所」に限られています。
- くわえタバコでの歩行や、ポイ捨ては絶対にしないこと。
- 「非喫煙者の健康に害を及ぼす受動喫煙」の防止は、法律で定められています。

SCU

大学院二期入試

社会人も受け付けています

願書受付：平成20年1月15日～22日
法学研究科・地域社会マネジメント研究科
詳しくは、大学院・研究課まで

東國大 東國大 東國大

経済学部経済学科三年 山田早織さん



異文化に触れる、視野が広がる

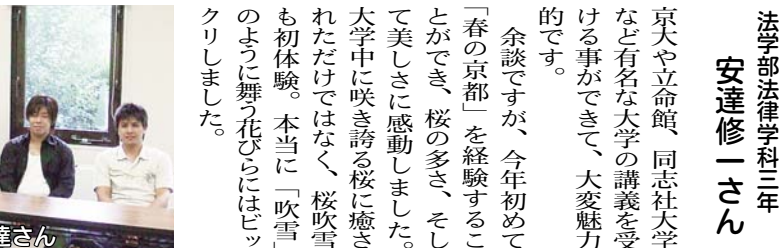
札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、韓国国際学術交流協定校である東國大へ短期海外研修をした学生と、京都学園大で学んでいる学生を紹介します。

私はこの学生交流プログラムで初めて韓国に行きました。このプログラムに参加したのは日本とは異なる文化や歴史に直接触れてみたいと思ったからです。今回のプログラムでは東國大で韓国語を学ぶことができて、いい思い出になりました。

ソウルのパートナーはみんな日本語がとて上手で、会話に不安を感じることはありませんでした。そして、みな明るくて笑顔のたえないメンバーでした。私は一週間、韓国のソウルで過ごしたことで日本と違う文化を直接体験することができてよかったです。

京都学園大学 法学部法律学科三年 安達修一さん

現在、僕は学校とアルバイトの生活というサイクルで、毎日生活しています。実は、今やっているアルバイトは、たまたま同じ授業で隣に座った他学部の男子と意気投合して紹介されたアルバイトなんです！北海道では、全く知らない人から話しかけられる事は今までなかったです。関西は北海道と違うなと思いました。



今年で十三回目になる商学部夏期集中講義が七月三十日から八月四日まで開かれました。北海道の社会・経済は今厳しい状況にあります。それをどう打開するか、そして元気になるにはどうするか「北海道の先端経営から明日の北海道を」が今年のテーマです。

商学部特別講義 テーマ：北海道の先端経営から明日の北海道を

鈴木俊幸氏(寿産業) 明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業三〇〇社(二〇〇六年)に選ばれた企業の経営論。江別経済ネットワークの挑戦ー江別のブランド戦略ー久保泰雄氏(江別市経済部) 地域貢献事業を盛んに行っている江別市から全国へ向けて展開するブランド戦略について。

今年で第六回目となる公開講座「人間論特殊講義」が七月三十日から八月四日の六日間わたって開講され、「ともに生きる知恵を探索する」という総合テーマのもと、本学の社会学を中心とした関連する諸領域の教員六人が講師をつとめました。

人間論特殊講義 テーマ：ともに生きる知恵を探索する

生じつつある問題とその解決への道筋が考察されました。人間科学科だけでなく、他学部や他学科からの受講生も数多く、また例年通り一般市民の受講生も交えながらの六日間でした。六回の講座を通して考えの幅が広がりました。開かれた大学として一般向けにも開放してあげたいと思います。



北海道ポスター展 in 松山大学 守田英世さん

「うわあ！イクラおいしそう！こつからできてくれんかなあ？」ポスターに向かって叫ぶ友人を見て、守田さんは「明日からのポスター展、みんなきつと喜んでくれる」そう確信しました。

守田さんは、昨年九月から半年間単位互換制度を利用して同大学経営学部で単位を取得しました。「スタッフ、指導教員、ゼミの友人、市民の方々との出会いがあり、その優しさに感動。たくさんさんの貴重な経験を松山からもらいました。今度は私が北海道の貴重なものを伝える番」と守田さん。

「この企画が成功したのは、松山大学の当時のゼミ指導をしてくださった先生や企画に関心を持って期間中ずっと相談ののってくださった先生、そして企画を支えてくれたゼミの友人のおかげです」と感慨深げ。「確かな視点をもち活動する学生を、大学は後押ししてほしい」そう語る彼の目には次の目標が見えているようです。

今年で十三回目になる商学部夏期集中講義が七月三十日から八月四日まで開かれました。北海道の社会・経済は今厳しい状況にあります。それをどう打開するか、そして元気になるにはどうするか「北海道の先端経営から明日の北海道を」が今年のテーマです。

法学部公開講座がスタート

法学部では、十月四日から「激動する企業社会と経営学」と題して公開講座がスタートしました。産官学それぞれの分野の第一線で活躍されている方々を講師に迎え、理論・実務の両面から企業を取り巻く法的環境について考える全十三回のリレー講義です。

今年で第六回目となる公開講座「人間論特殊講義」が七月三十日から八月四日の六日間わたって開講され、「ともに生きる知恵を探索する」という総合テーマのもと、本学の社会学を中心とした関連する諸領域の教員六人が講師をつとめました。

今年で第六回目となる公開講座「人間論特殊講義」が七月三十日から八月四日の六日間わたって開講され、「ともに生きる知恵を探索する」という総合テーマのもと、本学の社会学を中心とした関連する諸領域の教員六人が講師をつとめました。

「うわあ！イクラおいしそう！こつからできてくれんかなあ？」ポスターに向かって叫ぶ友人を見て、守田さんは「明日からのポスター展、みんなきつと喜んでくれる」そう確信しました。九月二十六日(水)二十

八月(金)、本学が単位互換協定を結んでいる松山大学(愛媛県松山市)で、商学部商学科三年の守田英世さんが「みつめてみつけて！北海道！」をキャッチフレーズにポスター展を開催しました。守田さんは、北海道の観光協会を訪れ、協

海外通信 バナアツ共和国見聞記 第2報

公用語のビスラマ語でプレゼンテーション

札幌学院大学 客員教授 川口 孝太郎



第一報はJICA(国際協力機構)のSV(シニアボランティア)として、バナアツに到着し右も左も分からぬまま研修の日々を過ごしている頃のことでした。あれから三カ月、色々のことが走馬灯のように思い出されます。

法学部公開講座がスタート

法学部では、十月四日から「激動する企業社会と経営学」と題して公開講座がスタートしました。産官学それぞれの分野の第一線で活躍されている方々を講師に迎え、理論・実務の両面から企業を取り巻く法的環境について考える全十三回のリレー講義です。

今年で第六回目となる公開講座「人間論特殊講義」が七月三十日から八月四日の六日間わたって開講され、「ともに生きる知恵を探索する」という総合テーマのもと、本学の社会学を中心とした関連する諸領域の教員六人が講師をつとめました。

Table with 5 columns: Lecture No., Date, Topic, Speaker, and Location. It lists the schedule for the 8th lecture onwards.

●入場無料(事前申込不要) ●会場/札幌学院大学 D202教室(D館2階) ●時間/13:10~14:40

